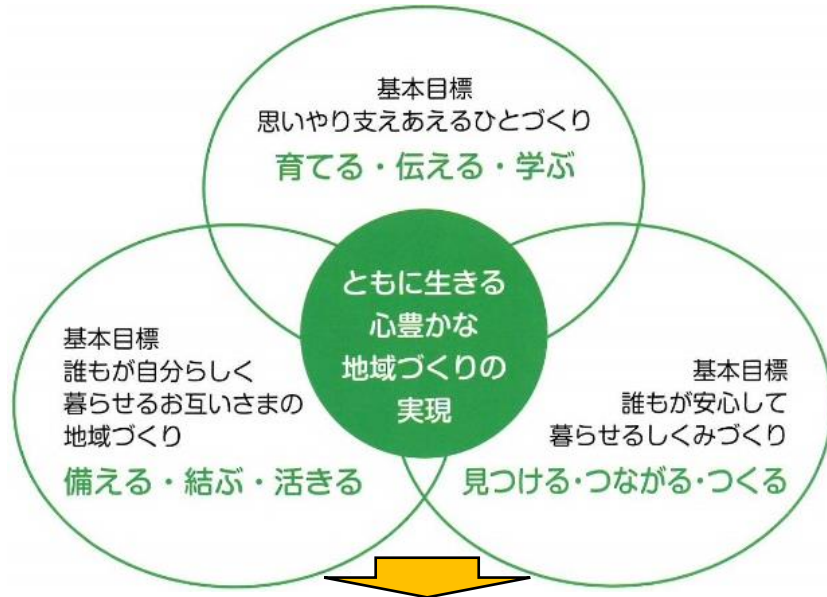


令和4年度 ボランティア育成事業
(ボランティアセンター事業)
計画書

○箕輪町社会福祉協議会 第4期地域福祉活動計画 (令和3年～8年)



箕輪町ボランティアセンター6年間（令和3年から令和8年）の重点目標

- 1 今の時代にあった分かりやすい情報発信・ボランティアの魅力発信
⇒ボランティア活動の魅力、良いところを伝えることで活動の輪を広げる
- 2 ボランティアを身近に感じる事業、取り組み
⇒ボランティアは特別ではない、身近に感じられるような企画・取り組みの実施
- 3 無理なく、短時間でも参加できる活動の場づくり
⇒かじられた時間の中でも気軽に参加、体験できるような企画
- 4 活動を実感できるようなサポート
⇒ボランティア活動者がやりがいや楽しみをもって活動を継続できるようなサポート
- 5 これからのボランティアの形を考える
⇒情報化社会、働き方や定年が延長される中、これからのボランティア活動の在り方について考える。

(1) 人づくり (福祉教育) (2) 情報の収集・発信

(3) マッチング
(コーディネート)

箕輪町ボランティアセンター 7つの機能

(7) ネットワークづくり

(4) ボランティア活動者のサポート

(6) 社会資源の開発

(5) 災害ボランティアセンターの設置準備・運営

ボランティア活動の推進・活性化

令和3年度 ボランティアセンター運営委員会にて検討

《令和3～8年までの6年間の重点取り組み事項》

- ①今の時代にあった分かりやすい情報発信・ボランティアの魅力発信
- ②ボランティアを身近に感じる事業、取り組み
- ③無理なく、短時間でも参加できる自由な活動の場づくり
- ④活動を実感できるようなサポート
- ⑤これからのボランティアの形を考える



より暮らしやすい町 (地域) づくり

ボランティア推進に
期待される効果

- ◎活躍の場、役割がある地域
 - ・私が活躍できる場がある
 - ・価値観が広がる、成長できる
 - ・心が豊かになる
 - ・楽しみがある

- ◎地域力が高い地域
 - ・関心が高い
 - ・問題、課題解決
 - ・災害に強い

- ◎つながりが広い地域
 - ・仲間ができる
 - ・ネットワークが広がる
 - ・新しい活動が生まれる

(1) 人づくり（福祉教育）

ボラセン事業の柱として、人材育成を進めます。

1、ちよいボラ

目的：無理なく気軽に参加できるような自由なボランティア体験の機会づくり。

内容：町内の企業や団体等と連携して、単独ではなく協働で行うボランティア。環境美化や体験など。年3回程度実施する。

2、第32回ふれあい広場

目的：人と人とのふれあいや交流を目的にする福祉の広場。

開催日：10月8日（土）を予定

会場：箕輪町文化センター及び地域交流センター

3、上伊那ブロックボランティア交流研究集会

目的：上伊那郡内のボランティア活動者同士の研修、交流会

会場：南箕輪村 開催日：未定

④、社会福祉普及校指定事業

目的：学校教育における福祉教育の推進を目的とする。

内容：町内7校を社会福祉普及校に指定し、25,000円を交付し福祉教育の教材費等に活用して頂く。

5、福祉体験、職員出前講座

目的：福祉体験や学習会を通して、

内容：（小・中・高）学校、企業、サークル等の場に職員、地域講師が出向き、福祉教育を推進する。

⑥、リサイクル活動の推進（リサイクル活動の会事務局）

目的：誰でもできる身近なボランティア活動として、リサイクル活動の推進を進める。

内容：学校、保育園、地域、民間企業と連携、また関係性を築き、ボランティア活動の裾のを広げていく。

(2) 情報の収集・発信

1、ボランティア相談窓口の開設

目的：ボランティアに関する社会福祉協議会（ゆとり荘）にボランティア相談窓口を随時開設する。
また、ボランティアコーディネーターが積極的に活動場所へ訪問し、ニーズの掘り起こしを行う。

2、箕輪町ボランティアセンターLINE公式アカウントの運用と充実

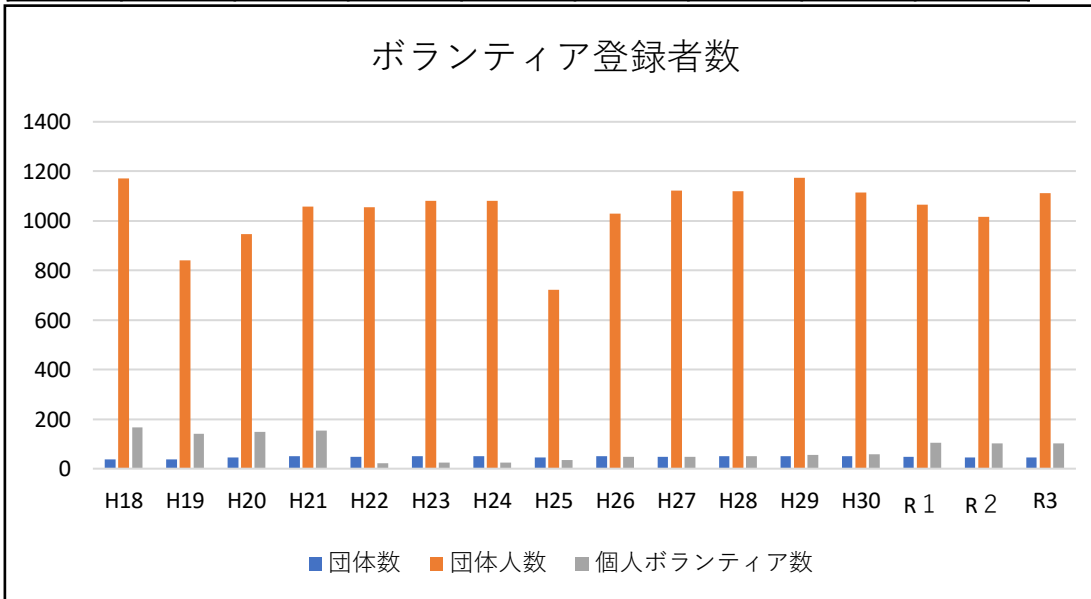
目的：幅広い世代（特に若い世代）へ、タイムリーに情報を届けることでボランティア活動を推進する。

発信内容：①ボランティア募集情報
②ボランティア活動情報
③行事・イベント講座情報
④補助金情報
⑤災害ボランティア等に関する情報

登録目標：令和3年7月…30人
3月…92人

↓
令和4年度登録者目標 300人
情報発信 月3回前後/月
最大1,000通/月

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30	41	47	70	85	87	90	91	92



(3) ニーズのマッチング（コーディネート）

1、活動希望者と支援希望者（活動場所）をマッチングする

箕輪町ボランティアセンター公式LINEを積極的に活用し、求められているボランティア情報を伝えていきます。

(4) ボランティア活動者支援

1、ボランティア登録・活動保険加入の促進

継続的なサポートができるようにボラ登録を推進、安心して活動できるようにボランティア活動保険の加入を勧める。
ボランティア活動保険の一部補助として一人あたり140円を補助する。

2、withコロナボランティア団体活動応援金の実施

◎単年度事業

新型コロナウイルスの影響で活動を自粛または縮小している団体へ、ボランティア活動の再開を目的として応援金を交付。

予算：30万

交付：15,000円 ※申請団体数により一律減額あり

対象：ボランティア登録団体

※例年実施しているボランティア団体活動育成補助事業は実施しない。

3、ボランティア活動者交流学習会（交流）

ボランティア団体同士のつながりをフォローできるような講座を実施し、互いの悩みの共有、解決を目的とする。

開催日：11月頃を予定

会場：箕輪町地域交流センター

4、ボランティア登録団体活動状況調査の実施

ボランティア登録団体の現況を調査し、今後の事業推進の参考とする。

また新型コロナウイルス感染症の影響による活動自粛状況を再確認し、活動再開に向けたサポートを行う。

実施期間：4月～5月6日（金）

5、ボランティア活動ガイドラインの作成

Withコロナ生活の中、ボランティア活動のガイドラインを制作し、活動継続に向けたサポートを行う。

(5) 災害ボランティアセンターの設置準備、運営

1、災害ボランティアセンターの設置・運営準備

目的：有事の際に、災害ボランティアセンターが適切に機能できるように事前の体制を整える。

内容：災害ボランティアセンター設置・運営訓練マニュアルの見直し

※訓練は2年に1回の開催予定

(6) 社会資源の開発

箕輪町の課題解決に不足している資源の開発を進める。

①、フードバンクみのわ事業

目的：「もったいないをありがとうへ」をキーワードに、

①気軽に参加できるボランティア活動の場として推進する。

②生活に困っている方への支援の1つの社会資源として運営する。

内容：令和2年2月1日より、フードバンクみのわ事業を設置。

食料を社協にて保管し、必要な方へ提供する。

①ー(2) フードドライブ学習会

目的：誰もが気軽に参加できる活動の1つとしてフードドライブ活動を普及し、様々な団体や企業等が協力して頂く事を目的に開催する。

日時：令和4年7月16日(土)

(7) ネットワークづくり

ボランティアセンター事業のサポート、メンバーのふれあい・交流の場づくりを目的にした活動。

令和4年度は、連携と協働を意識し取り組みを進める。

1、福祉教育担当者連絡会(考える会)

目的：福祉教育に取り組む学校、施設、ボランティア、講師、当事者のネットワーク構築、思いの共有を進め、福祉教育を推進する。

開催：年2回(6月、2月頃)

2、ふれ愛サポーターズ事務局

ボランティアセンター事業のサポート、メンバーのふれあい・交流の場づくりを目的にした活動

3、ボランティアセンター運営委員会の組織 (2021年4月1日~2023年3月31日)

ボランティア活動を推進していくために必要な事業の企画立案、ボランティアセンターの機能充実と適正な運営を協議、実行していくボランティアセンターの中核組織。

委員：14名 会議：年間6回程度